

市議会だより さつて



2019年3月16日(土)
東西自由通路
西口駅前広場にて

3月定例会のおもなことから

- ・平成31年度当初予算等 2～5ページ
- ・各常任委員会での審査 6～8ページ
- ・市政に対する一般質問 9～15ページ
- ・議決結果の一覧 16ページ

No.90
2019年
5月

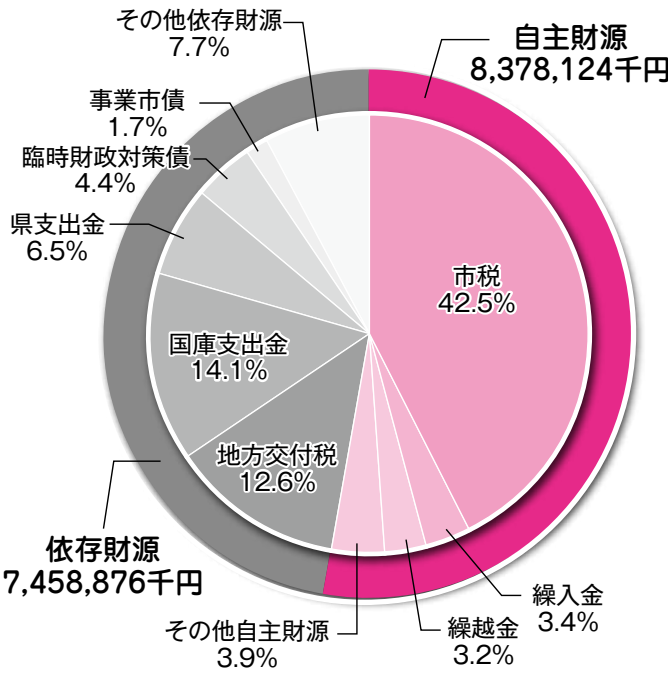
平成31年度 予算賛成多数で成立

一般会計 158億3700万円

一般会計

歳入構成

歳入内訳



歳入予算額構成比

(単位:千円)

| 区分 | 予算額 | 割合 | |
|------|----------|------------|-------|
| 自主財源 | 市税 | 6,734,910 | 42.5% |
| | 繰入金 | 533,460 | 3.4% |
| | 繰越金 | 500,000 | 3.2% |
| | その他の自主財源 | 609,754 | 3.9% |
| 依存財源 | 地方交付税 | 2,000,000 | 12.6% |
| | 国庫支出金 | 2,235,007 | 14.1% |
| | 県支出金 | 1,038,169 | 6.5% |
| | 市債 | 690,000 | 4.4% |
| | 事業市債 | 274,200 | 1.7% |
| | その他依存財源 | 1,221,500 | 7.7% |
| | 合計 | 15,837,000 | 100% |

歳入
歳入総額は前年度比17億5500万円(9.8%)減
市税は前年度比5.4%増の67億3491万円

平成31年 3月定例会
 平成31年3月定例会は2月21日から3月19日までの27日間の会期で開かれました。今定例会では、条例制定・改正案9件、補正予算案8件、平成31年度一般会計予算など予算案8件、人事案件3件、諮問案件2件などが提出され、いずれも原案のとおり可決・同意しました。
 また、請願2件は採決の結果、1件が採択・意見書提出となりました。

歳入
 歳入総額は前年度比17億5500万円と大幅な減額となりました。
 自主財源は、中央地区産業団地進出企業の操業開始等による市税の増加を含み構成比53・0%で、依存財源は、構成比47・0%で、地方消費税が前年度比1億2000万円の増額となるほか、地方交付税、国庫補助金、基金からの繰入金、市債発行等は22億8126万円の減額計上となりました。
 これは、去る3月17日、幸手駅舎・東西自由通路・西口広場が供用され、事業費の支払いがほぼ完了したこと等によるものです。

**平成31年3月定例会
本会議議案質疑内容**

質疑

平成31年度一般会計予算では、さかえ小学校トイレ大規模改修工事1億2731万5千円が計上されています。しかし、平成31年度

に予定していた権現堂川小学校、吉田小学校、長倉小学校の大規模工事が中止となっておりその理由を市長にお伺いいたします。尚、長倉小学校は、平成31年度補正予算で復活といえますか、補正で出された理由も兼ね合わせて答弁していただければと思います。

答弁

小学校トイレ大規模改修工事についてご答弁申し上げます。平成31年度の当初における学校の便器洋式化を含めたトイレの大規模改修事業については、財政状況によりさかえ小学校の1校を行うことといたしました。ただし、まだ改修が終わっていない学校について

歳出

構成比では民生費が39.7%を占め、総務費、教育費が続く。主な事業は、さかえ小トイレ改修、幸手総合公園テニスコート長寿命化工事など

性質別歳出内訳

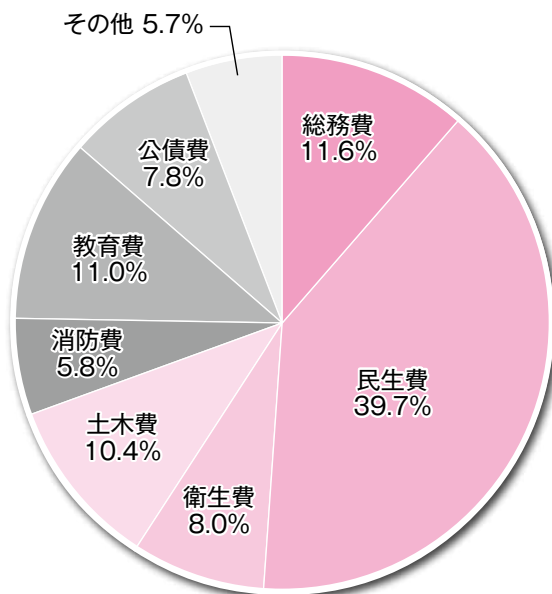
(単位:千円)

| 区分 | 予算額 | 小計(割合) | |
|----------------------|------------|-----------|-------------------|
| 義務的経費 | 人件費 | 2,808,592 | |
| | 扶助費 | 3,764,257 | |
| | 公債費 | 1,240,827 | |
| 7,813,676 (49.3%) | | | |
| 投資的経費 | 普通建設事業 | 765,832 | 765,832 (4.8%) |
| その他経費 | 物件費 | 2,906,239 | |
| | 維持補修費 | 89,914 | |
| | 補助費等 | 1,993,375 | |
| | 繰出金 | 2,206,131 | |
| | その他 | 61,833 | |
| 7,257,492 (45.9%) | | | |
| 合計 | 15,837,000 | | |

※繰出金とは一般会計から各特別会計等に繰出す支出

歳出構成

歳出款別予算額構成比



特別会計

特定の収入を特定の事業のために使う会計
(水道事業および公共下水道事業を除く)

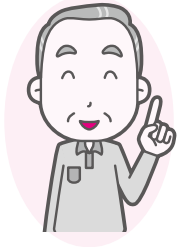
| 会計名 | 予算額 |
|-------------------|--------------|
| 国民健康保険特別会計 | 6,247,458千円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 622,751千円 |
| 介護保険特別会計 | 3,770,822千円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 35,283千円 |
| 幸手駅西口土地区画整理事業特別会計 | 461,747千円 |
| 合計 | 11,138,061千円 |

質疑

高齢者の約4人に1人が認知症、また、その予備群と言われており、患者数は年々増え続けています。現在、国を挙げて認知症の人に優しい環境づくりが進められ、地域密着型の介護サービスが取り組まれており、この徘徊見守りネットワークを利用する自治体が増えていきます。当市のつながり安心ネットワーク事業の詳細、経費をお伺いいたします。

答弁

つながり安心ネットワーク事業経費ですが、まず、つながり安心ネットワーク事業は、認知機能の低下等により行方不明となるおそれのある高齢者や障がい者を対象としております。対象者が身につけた小型の見守り機器、小型タグと専用のアプリケーションをインストールしたスマートフォンを持った人がすれ違くと、対象者の位置情報の履歴がサーバーに提供されます。保護者が、その提供された位置情報履歴をスマートフォンで見ながら探索することにより、対象者の早期発見と安全確保につなげるものです。また、位置情報提供を補充するために、市内コンビニエンスストアや公共施設に感知機の設置を予定しております。経費として、25カ所の徘徊探索サービス感知器使用料として13万1千円、25台分の感知器を購入する機械器具費として62万1千円を計上しています。



(議案第1号)
幸手市庁舎建設基金条例を可決

賛成討論

松田 雅代

基金とは単年度収支が原則の自治体会計の特例で、世代間の財政負担の平準化・公平を図る手段であり、一度積まれた積立金は将来にわたりその目的に拘束される。庁舎建替えの青写真作成を待たず、前倒しで基金を積みみたい考えは理解できるが、財政厳しき折りである。

今後の財政需要、資金計画等を早急に明確にし、市民・議会に示されることを要望し賛成とする。

(議案第16号)
平成31年度幸手市一般会計予算を可決

反対討論

大平 泰二

前年度比17億1300万円減の大幅縮小の原因として財政的に無理な民間橋上駅舎建設と駅西口土地区画整理をおしすすめたために、基金をほぼ使い果たし、今後の事業費を計上することが困難

となったこと。借金は、土地開発公社26億2200万円を加えた債務残高は171億4400万円となり、借金が増えつづけ基金が枯渇する破算状態です。過大な投資をやめ、財政再建策が急務です。

賛成討論

小林 順一

交通安全対策費の運転免許証自主返納者支援事業交付金の計上は、高齢者の交通事故が多発している状況で、高齢者の交通事故を無くす発信自治体として見本となるものである。また、徘徊探索サービス感知器使用料の計上は急速な高齢化に対応するものである。さらに橋りょう長寿命化調査設計業務委託料の計上は、防災減災で安全安心な暮らしを守ることになる。これらをもつて賛成とする。

賛成討論

木村 治夫

平成31年度予算について、市税は前年度比5.4%の増加を見込み、増収の兆しが見えている。事業として、小中学校トイレ大規模改修事業、地震・豪雨対策予算の確保、子ども・子育て支援事業計画策定、認知機能低下による「つながり安心ネットワーク事業」、ペナン共和国とのホストタウン登録、全国さくらサミットの開催による「回

遊型観光」の推進等、財政規模を堅持し市政運営に全力で取り組むこと。

賛成討論

本田 諤子

幸手中央地区産業団地進出企業の操業開始により、歳入では、約3億円の固定資産税の増収が見込まれています。また、行方不明のおそれがある人の見守り体制強化を図るつながり安心ネットワーク事業、子どもの弱視や斜視などの異常を早期発見し治療につなげる3歳児健診での眼科屈折検査、小中学校トイレ大規模改修など、限られた財政の中でも明るい未来に繋がる事業と評価し、賛成とする。

(議案第19号)
平成31年度幸手市介護保険特別会計予算を可決

反対討論

大山 重隆

私は、次の5点を論拠として反対する。①現在の介護サービスは、十分足りていると市の見解。高齢者は、知らないから使わない。②いつまでも自宅で安心して暮らせる在宅サービスを充実させる。③施設は高すぎて入れない。市の独自の補助制度を創設する。④地域

包括支援センターをすべて民間ではなく、市営を復活すべき。⑤介護保険の貯金が6億円。より良い介護サービスの充実に使うべき。

(議案第21号)
平成31年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算を可決

賛成討論

中村 孝子

当年度の工事として杉戸幸手栗橋線が弁天橋まで完了し、バス運行に期待が持てる。区画道路は4か所147mの予定で、停車場線も早ければ4年後位には全線共用の見通し。仮換地率3割強、移転棟数4割となり順調に進捗。新幸手の街づくりのため当事業を着実に進展させねばならない。計画期間の平成42年度を目途に、地域住民との密なるコンタクトを基本として事業を推進されるよう切に要望する。

賛成討論

木村 治夫

駅西口土地区画整理事業は、交通面、防災面での問題を解消し、市の玄関口整備、地域の利便性、快適性、安全性を高め、市の活性化に不可欠な事業である。当初予

算は駅西口へのアクセス性の向上を図り、路線バスの乗り入れに資する予算内容であることから、是非とも着実な事業執行のための予算執行をしていただくことを強く要望し、賛成討論とする。

(請願第1号)
「アスベスト被害者補償基金を

算は駅西口へのアクセス性の向上を図り、路線バスの乗り入れに資する予算内容であることから、是非とも着実な事業執行のための予算執行をしていただくことを強く要望し、賛成討論とする。

請願第1号および意見書案第1号が採択・可決

含む全面解決に向けた意見書」の国への提出を求める請願が提出され、幸手市議会として「賛成多数」で採択しました。

(意見書案第1号)

アスベスト被害者補償基金を含む解決に向けた意見書案が提出され、幸手市議会として「賛成多数」で可決し、内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、環境大臣、法務大臣に意見書を送りました。

意見書案第1号

アスベスト被害者補償基金を含む解決に向けた意見書

アスベスト(石綿)は建築資材に多く含有し、製造業だけでなく建設現場にも被害が拡大しました。アスベスト被害者の中には、これまでの長年の訴訟の中で、病状が悪化し亡くなった原告も多くいます。本議会でも、一昨年、議員がアスベストによる中皮腫で亡くなり、身近で見過ごせない問題となりました。

長年の裁判の中で、国と関連企業の責任は明らかになっております。現在、被害者の救済制度はあるものの、十分なものとは言えません。政府と関連企業は、司法判断を重く受け止め謝罪と完全賠償をおこない、早急に「被害者補償基金制度」の創設を決断すべきです。

アスベストによる疾患のうち、呼吸機能が低下する石綿肺については、1950年代、肺がんや中皮腫などは70年代、それぞれ石綿との因果関係があると医学的見解が確立され、政府もその頃石綿による健康被害の危険性を認識していたことは間違いありません。

そうであれば、建設現場では防塵マスクの着用や、吸引したら危険なことを警告表示することが必要だったにもかかわらず、防塵マスク着用、警告を企業に義務付けませんでした。そのためにアスベスト含有建材が多くの現場で切断されるなどして、その粉塵が舞う中でマスクを着けずに、建設業従事者が作業することが全国の建設現場で起こりました。

日本での使用禁止は2006年からとあまりにも遅く、その間に被害者が増え続けたことを考えれば、規制権限を行使しなかった政府の責任は明らかです。

「命あるうちに」「裁判によらない補償を」は、被害者・遺族の切実な願いで、裁判によらない簡易で迅速な救済となる「建設石綿被害者補償基金制度」の創設が必要です。

以上のことから、本市議会は政府に対し、下記事項について強く求めます。

記

アスベスト被害者に対する「建設石綿被害者補償基金制度」の創設をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

平成31年3月19日

埼玉県幸手市議会議長 藤 沼 貢

人事案件

公平委員会委員

倉 繁 健 一 氏
 山 口 寿 通 氏
 河 村 成 子 氏

を選任することに同意しました。

人権擁護委員

石 井 和 子 氏
 小 森 谷 進 氏

を推薦することに同意しました。

総務常任委員会

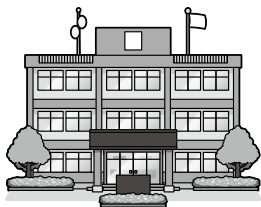
幸手市庁舎建設基金条例 (議案第1号)

問 基金の詳細については。

答 市役所本庁舎は耐震基準を満たしておらず、大規模地震が起こった場合には、倒壊のおそれがあるため建て替えの方針となり、基金条例を提案するものである。

建て替える時期や位置、規模等は決まっていないため財源も未定。数十億円以上必要となる見込みである。

市庁舎は、大規模災害時には、災害対策本部と情報伝達などの中枢拠点になるほか、被災した住民の復旧支援のため、高い耐震基準、安定性が求められている。近隣市を参考にすると、建設費総額の約半分は基金で賄いたいと考える。



平成30年度幸手市一般会 計補正予算 (第7号) (議案第10号)

問 結婚新生活支援補助金の減額理由は。

答 この補助金は、市内で結婚新生活をスタートする世帯で、前年の合計所得が340万円以下の方について引越し費用、または住宅の取得、あるいは賃貸の費用の一部を補助する制度である。当初予算は、平成28年度の婚姻届出数が169件のうち、対象となる方が約3割でしたので50件を見込み、補助限度額24万円を掛け1200万円を積算した。しかし、実際運用すると申請が少なかったため、減額したものである。

問 公衆喫煙所整備工事の減額理由は。

答 当初予算では市役所の敷地内に設置をする予定であったが、健康増進法の一部を改正する法律が一部施行されることに基づき、市の方針として公共施設は原則敷地

内禁煙とすることになり、全額当初予算を減額するものである。

平成31年度幸手市一般会 計予算 (議案第16号)

問 固定資産税の増額理由は。

答 土地については、下落修正があり、収納率を掛ける前の段階で340万2千円の減額を見込んでいる。家屋については、産業団地の増を見込み、6680万1千円の増。償却資産についても同様で、5145万8千円の増と見込んでいる。

問 移住促進空き家バンク仲介手数料補助金の内容は。

答 国土交通省の告示である宅地建物取引業者が、宅地又は建物の売買等に関して受けることが出来る報酬の額によると、空き家を提示した方の仲介手数料の補助金限度額は5万円、空き家を買った方に対しては、10万円を限度額としての補助を考えている。1件成立すると15万円、それを年度3件見込んで45万円を計上したもの。補助目的は、増加する空き家の有効活用を図ること。人口対策と

して、移住定住を促進し、地域の活性化を図る方策として、空き家登録制度を実施しながら制度を促進するために、空き家の提供主あるいは買う方に対して、仲介手数料の一部を補助する制度を、同時施行していきたいと考えている。

平成30年度幸手市一般会 計補正予算 (第8号) (議案第27号)

問 庁舎建設基金積立金の算出根拠については。

答 補正予算第8号で、さかえ小学校トイレ大規模改修事業を繰越明許とするため、平成31年度から皆減して平成30年度予算に補正で計上した。さかえ小学校トイレ大規模改修は、国の防災・減災・国土強靱化3カ年重点事業債である。平成31年度に計上した学校教育施設等整備事業債では、充当率の継足単独分75%が、今回の防災・減災・国土強靱化のための緊急対策債で充当率100%、継足単独部分も100%の起債が可能になり、通常の学校施設環境改善交付金の交付税措置30%が、今回の対策債で50%となる。その差額を庁舎の建設基金に積み立てるものである。

文教厚生常任委員会

平成30年度幸手市一般会計補正予算 (第7号) (議案第10号)

問 児童手当費の減額理由は。

答 2月に定期払いを行い、支出が確定したことによるもので、平成29年度の支給件数は6万5634件でしたが、平成30年度は6万3466件に減少したからである。

平成30年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号) (議案第11号)

問 人間ドック等助成金100万円の数値は。

答 予算は37件分を予定している。

平成30年度幸手市介護保険特別会計補正予算 (第3号) (議案第13号)

問 軽度認知障がいスクリーニングテスト使用料の減額理由は。

答 予定した人数より少なかったこと、今後も利用が見込めないためである。

平成31年度幸手市一般会計予算 (議案第16号)

問 交通指導員報酬13人分の内容は。

答 子どもたちの通学時間における立哨に加え、各種イベント開催時の交通整理等含んでいる。

問 生活保護扶助費の減額理由は。

答 生活保護受給者の高齢化による受給者数の減少や、年金制度改正により受給資格期間が短くなったこと、年金受給者が増えたことによる。

問 雑草除去業務委託料の内容と件数は。

答 空き地に繁茂した雑草等が放置されている場合、火災・犯罪の予防や、生活環境維持のために指導を行い、土地所有者から雑草除

去の依頼があった場合、実費により雑草除去を実施する。
平成29年度の実績で、22件の対象地を確認し、うち7件の除草を実施した。

問 市独自の学力調査の効果については。

答 効果が期待できるので、続けて実施したい、4月に全国・県の学力・学習状況調査を実施して、その結果を市の調査にフィードバックして学力の向上を図りたい。

平成31年度幸手市国民健康保険特別会計予算 (議案第17号)

問 出産育児一時金の内容については。

答 一時金として第1子から50万円ずつ交付する。

平成31年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算 (議案第18号)

問 特別徴収保険料と普通徴収保険料の想定人数は。

答 特別徴収保険料と普通徴収保険料は人数ではなく、金額割合で分けており、被保険者数は7670人を見込んでいる。

平成31年度幸手市介護保険特別会計予算 (議案第19号)

問 国庫支出金の調整交付金が増えた理由は。

答 後期高齢者が年々増加することによって、調整交付金が増加するものである。

平成31年度幸手市一般会計補正予算 (第1号) (議案第28号)

問 長倉小学校とさかえ小学校の工事の違いは。

答 長倉小学校については、児童用トイレ改修はすべて終了しており、未改修部分の教職員用トイレや屋外トイレの工事である。



長倉小学校

建設経済常任委員会

幸手市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例（議案第6号）

問 条例改正の趣旨は。

答 農林水産省から通達された法律改正の趣旨は、土地改良区の業務運営の適正化を図るために土地改良区の組合員資格の拡大、総代会の設置および土地改良区連合の設立に係る要件の緩和等の措置を講ずるものである。

平成30年度幸手市一般会計補正予算（第7号）（議案第10号）

問 権現堂用水路改修事業主体の事業費・負担金の算出根拠は。

答 事業主体は埼玉県で、全体の事業費は、8100万円で、事業費のうち、関係市町の負担金が事業費の10%、幸手市の負担金があるうちの69・1%、事務費についても、関係市町と幸手市の負担金

がそれぞれ決まっております、合計額が626万8752円となる。

問 建築後退部分購入費の減額理由は。

答 建築後退用地の買収費用で、当初1件当り15平方メートルを12件分、180平方メートルを予定していたところ、最終的に9件、約90平方メートルの申請となり、執行残を減額するもの。

平成31年度幸手市一般会計予算（議案第16号）

問 農地利用最適化推進委員の活動内容は。

答 農地利用の最適化とは、担い手への農地利用の集積・集約・耕作放棄地の発生防止・解消、また新規参入の促進で、具体的な活動としては、今年度の例では推進委員の担当地域の中で、耕作放棄地、それに類するものを調査し地図に落とし、今後はその解消につなげていく活動をしている。

問 稲わら焼却対策事業補助金の内容と実績は。

答 各農業で稲わらを自分の田んぼにすき込み、腐熟促進肥料を使って堆肥にした農家に対して補助金を支払うものである。10アール当り10000円以内または腐熟促進肥料の2分の1を補助している。平成29年度の実績は12件、補助金額は7万454円であった。

問 全国さくらサミット運営業務委託料の内容は。

答 業務の中には、2日間にわたる会議等や音響、基調講演する場合の基調講演講師料、コーディネーターの出演料が含まれる。

問 倉松川改修に伴う市道橋架替詳細設計業務委託料の内容は。

答 埼玉県において倉松川の改修事業が進められており、今回、国道4号線から上流部分の区間について、雁橋、503号橋、大日橋という市の管理する橋梁があり、この架け替えについて、全体的には埼玉県で予備設計をし、橋梁形式等は今後決める場所であるが、幸手市で管理している橋梁につい

ては、県から負担金を受け、幸手市で詳細設計を実施する事業である。

平成31年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算（議案第20号）

問 機能診断調査業務委託料の内容は。

答 基本的には処理施設、管路、管路の途中にマンホールポンプが地区内に4カ所あり、これら全てが今現在どのように機能しているか、その内容を調べるものである。

平成31年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算（議案第21号）

問 平成31年度予算可決後の事業展開は。

答 都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線の整備が終了すると、弁天橋までのアクセスが確保され、バス路線の幸手駅西口から久喜駅へのルート確保・乗り入れについて交渉等のサポートを引き続き行っていきたい。

市政に対する

一般質問

今定例会では、12人の議員が2月22日、25日、26日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 中学校3年生のインフルエンザの予防接種費用の助成について
- 幸手市における統一地方選挙に向けての対応について

本田謡子議員

- デマンド交通について
- ごみ収集について

松田雅代議員

- マイナンバーを利用した事務の「契約及び法令違反問題」に関する市の問題について
- 「東部消防組合消防力適正化計画」に対する市の評価について
- 幸手市におけるインフルエンザの今期流行について
- 「安全な通学」確保について
- 子ども議会議員発、外国人観光客を増加させる取り組み(案)について
- 公共施設のトイレ洋式化改修について

小林順一議員

- 悩みのある若者への支援の充実について
- 市内居住外国人の災害時安全確保の対策について

中村孝子議員

- 第6次幸手市総合振興計画前期基本計画について

大平泰二議員

- 市民要望に対する市の対応について
- 消防署西分署廃止問題
- 幸手駅西口土地区画整理問題
- 人口減少対策
- 重点プロジェクトについて

宮杉勝男議員

- 各種契約内容について
- 学校で行っているアンケートについて
- 県事業が進展しない件について

小河原浩和議員

- 幸手市の総合訴求戦略(シティプロモーション推進方針)の進捗状況について

青木章議員

- キャッシュレス化社会の対応について
- 幸手駅西口の今後について
- 幸手団地について
- 香日向地区の要望について

大山重隆議員

- 「ケアシステム」(高齢者・障害者)の構築・実現について
- 「地域包括支援センター」の選考・指導について

木村治夫議員

- 観光の振興について
- デマンド交通の充実について
- 平成31年度幸手市一般会計予算編成について

武藤壽男議員

- 平成31年度以降の幸手市の施政方針について
- 東西自由通路と駅舎、駅前広場の管理について

3月定例会

| 傍聴者 | | |
|--|----------|---------|
| 36人の方が傍聴されました。 | | |
| 議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。 | | |
| 1月 175件 | 2月 1597件 | 3月 889件 |
| の方が視聴されました。 | | |

議事を傍聴しませんか
議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

| 3月定例会 会期日程 | |
|--------------------|--|
| 2月21日(本会議) | ・開会・会期の決定・報告事項 ・市長提出議案一括上程、 提案理由説明 |
| 2月22日・25日・26日(本会議) | ・市政に対する一般質問 |
| 3月4日(本会議) | ・議案に対する質疑 |
| 3月5日・6日(委員会) | ・議案の委員会付託 |
| 3月7日(委員会) | ・文教厚生常任委員会 |
| 3月11日・12日(委員会) | ・総務常任委員会 |
| 3月19日(本会議) | ・建設経済常任委員会 |
| ・閉会 | ・委員長報告、質疑、討論、採決 |

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。

インフルエンザ予防接種費用の助成は



小林啓子議員

Q インフルエンザ流行時期は、受験生にとって大切な時期であることから、中学生3年生にインフルエンザの予防接種費用を、助成しては如何かを伺う。

A 子どものインフルエンザ予防接種について、国は子どもに接種した場合の有効性には限界があり、中学生が希望する場合、任意接種とすることが適当と結論を出している。また、発症・重症化予防がある一方で副反応や健康被害のリスクもあり、任意接種による健康被害の補償は定期接種に比べ、補償内容に大きく差がある。以上のことから、現時点では助成実施の予定はないが、国の

動向を注視しながら、今後検討していききたい。

(健康福祉部長)



市民の声、届いているのか デマンド交通



本田謡子議員

Q あちらこちらから、市民の声が聞こえるデマンド交通。市の動きが見えづらことから、改めて伺う。市民の声をふまえた現状と、それに対する市の対策とこれからの予定について伺う。

A 市民・利用者アンケートなどからも現状として予約が取りづらいということがある。この対策として、時間またぎの運行や乗車・降車にかかる時間を短くする設定変更を行い乗合率の向上を図っている。また、システムや案内方法などで変更できる点については、早急に行う。

尚、今後においては平成32年9月の契約満了に向けて、デマンド交通全体の事業検証を行い、

地域公共交通会議などで協議し、幸手市のあるべき利便性の高い公共交通を推進していく。

(市民生活部長)



子ども議会発の提案に積極的な検討を



松田雅代議員

Q

先般の子ども議会（市内各小中学校から代表が集い一般質問等を行う）で、子ども議員から幸手市の観光行政について、「権現堂に小学校から英語のボランティアをおくる」という提案があった。非常に頼もしく、かつ具体的に検討すべき提案と考えるが、その後の協議、実現可能性を伺う。

A

子ども議会終了後、提案いただいた小学校や児童たちの想いを確認させていた。外国人観光客の動向を更に注視しながら、どのようなことであれば児童たちが桜まつりに係わりをもてるかを検討していく。

また、このような事業案は、教育委員会も含め地域にも声をかけ進めてほしいと考えるが、教育長の考えを伺う。

教育委員会としては、児童生徒に多様なアウトプットの場と機会を提供することは、意義のあることと考えている。実施の仕組みや方法など、関係各課と検討していく。

（建設経済部長・教育長）

市内居住外国人の災害時、安全確保の対策を



小林順一議員

Q

日系外国人をはじめとした定住外国人が増える中、地震・集中豪雨などによる災害から、いかに身を守る情報を伝えられるか、対応が求められております。

市内に居住されている外国人の人数を伺う。何ヶ国の人が居住されているのか伺う。いくつの言語が話なされているのか伺

A

日系外国人をはじめとした定住外国人が増える中、地震・集中豪雨などによる災害から、いかに身を守る情報を伝えられるか、対応が求められております。

市内に居住されている外国人の人数は、1031人、国籍数は33カ国、母国語は19言語となっている。

地域防災計画における外国人の方への対策としては、所在

う。防災計画の中で外国人対策はどのようになされているのか伺う。ハザードマップ等の外国語版を、早急に作成すべきと考えるが所見を伺う。

の把握、外国人の方に配慮した案内板等の整備、外国語による防災知識の普及、災害時の通訳等の確保としている。今後、案内板の更新やハザードマップの見直しの際に、外国語の表記について、検討していきたいと考えている。

（市民生活部長）

第6次総合振興計画をいかに実行するのか



中村孝子議員

Q 今後10年間の指針の内、特に駅舎、自由通路終了後の西口土地区画整理事業は、計画の期限内完了を目指し、いかに着実に実行するのか。

また、水道事業の民営化について、水道は市民の生命線である。市の考えは。

さらに、施策実行にかかせない財政状況は、かつての健全化

計画策定時の積立基金残額や地方債残額に大差なく、厳しい状況と見受けられる。計画期間中の財政の見解は。

A 西口土地区画整理事業の計画の期間内完了のためには、財源の確保が重要と考

える。国の交付金制度の動向に注視しながら事業を進めていく。水道事業について、コンセッション方式により民間委託をすることは、現在のところ考えて

いない。

今後、厳しい財政状況となることが予想されるが、中長期的な視点にたち、持続可能で安定した財政運営ができるよう、事務事業の見直し、経費削減など歳出抑制に努める。

(建設経済部長・水道部長・

総合政策部長)

公共交通の利便性評価6.6%の向上について



大平泰二議員

Q 予約が取れない、電話が繋がらない等の不評が多いデマンド交通。

デマンドの累計登録者数は3804人、年間利用者8581人と、廃止前の市内循環バス年間利用者31082人と比べ大きく落ち込んでいる。

改善策として①売り上げは業者の収入とする②デマンドの台

数を増やす③タクシー初乗り料金400円④市の補助によるタクシージェットを発行等、改善が必要ではないか。

A 予約がとりづらいことへの対策や他の公共交通機関へのアクセスの向上を図り、利便性の高いデマンド交通を推進する。また、鉄道など公共交通機関への要望や働きかけ、連携をとり、総合的で持続可能な利便性の高い公共交通としてい

くことで、市民のみなさまの満足度・利便性の向上を図る。提案された改善策については、平成31年度において公共交通等どうあるべきかを相対的に検討する中で、一つの検討材料とさせていただく。

(市民生活部長)



小河原浩和議員

幸手市のシティプロモーションの推進状況は

Q

幸手市の持つ魅力を市内外に効果的に発信し、地域のイメージや認知度を高め、愛着と誇り、地域への参画意欲を持つ人たちを増やすこと。そして、さらなるまちの魅力の創造、発信につなげる事を目的として、シティプロモーション課が設置された。成果と今後の取り組みについて伺う。

A

今年度は、ロゴマークの作成や電車内広告の掲出を実施し、幸手の名前や魅力を広く知っていただくことができました。また、広報紙やホームページの内容の充実を図るとともに、アプリや電子本棚の活用、テレビ埼玉のデータ放送、市公式フェイスブック等、市の情報を見ていただく手段を増やすことで、情報発信の強化を図った。今後は、PRサポーター制度の創設、ふるさと納税の見直し



(総合政策部長)

等を行い、引き続き幸手市の効果的な魅力発信に努めていく。



宮杉勝男議員

学校で行っているアンケートについて

Q

野田市で、小学4年生への児童虐待で死亡させてしまう悲惨な事件が、発生してしまっただが、幸手市における状況を伺う。

A

①いじめに関するアンケートの結果について伺う。
②家庭内での、児童虐待の実態把握方法とその有無を伺う。
③問題が発覚した場合の、対処

①今年度の調査において、新たに認知した事案は1件ありました。②児童虐待の早期発見に向けて、教員による児童・生徒の観察、教育相談の充実、スクールカウンセラー

方法と関係各所の連携や協力体制の構築について伺う。
④こどもからアンケートに対する信頼が無くなったと思うが、今後どのような調査方法で行うのか伺う。

(教育長)

との連携等を行っております。
③校長は指導課へ第一報を入れ、その後、こども支援課を通じて、児童相談所へ通告します。緊急性がある場合は、直接、児童相談所へ通告します。④今後も、日々の児童・生徒の観察を徹底しつつ、アンケートも適切に実施し、対応へと繋げてまいります。

香日向地区住民要望の早期実現に向けて



青木章議員

Q 香日向地区自治会での住民要望等については、

地区内の回覧板で良く周知をしています。幸手市への要望については、私自身注意深く目を通していているところです。私も自治会の役員を複数回行なったことがあります、自治会の苦勞についても少なからず理解をしています。そこで、香日向地区の、幸手市

への要望内容とその対応について伺います。また、香日向地区の悲願である、公共下水道接続の早期対応を望みますが、いかがでしょうか。

A 香日向地区から3年間に公園関係で7件、汚水

処理施設補修など下水道関係で3件、防犯関係で2件、その他5件で計17件の区長要望がありました。その内14件は対応済みとなっております、今年度後半に出

された3件は現在調整・協議を行っております。また、香日向地区への公共下水道延伸は、平成33年度から始まる次期事業認可計画に入れることを検討します。市内でも最上流部となり、下流域から順次整備となりますが、早期の整備を目指します。
(市民生活部長・水道部長)

高齢・障害者は安心して自宅で暮らせますか



大山重隆議員

Q 災害・緊急時に援助し

なければならぬ方は、高齢・障害者の方である。幸手市は、その方を援助する個別計画すら策定しておらず、県内で最も遅れている。また、自宅で安心して暮らせる、終末期を自宅で迎えられる在宅医療・介護体制も遅れている。平成28年12月に、全議員の賛成で「地域包

括ケアシステム」構築への決議が採択されている。全議員の総意は市民の意向であり、このケアシステム（市民を守る）を構築しなければならぬと思うが市長の考えを伺う。

A 高齢者や障がい者の方

が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、災害時の避難行動要支援者に対して、今年度中に個別計画を作成し受付を開始する。また、終末期を

自宅で迎えられる在宅医療・介護体制については、幸手モデルとして先進的に進めている在宅医療・介護連携推進事業等で、医師や歯科医師・薬剤師・訪問看護師などの医療関係者や介護事業者・社会福祉協議会など多職種との連携による協議を重ね、ケアシステムの実現に取り組んでいく。
(健康福祉部長)

平成31年度幸手市一般会計予算編成を問う



木村治夫議員

Q 平成31年度は、「幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年度となる。各種事業を展開するにあたり、自主財源の確保・投資的経費の抑制等の具体策について伺う。

また、本年10月税制改正後、全世帯型の社会保障制度導入が予定され、幼児教育の無償化を含む子育て関連予算・介護人材の

処遇改善を含む社会保障費関連予算等が追加される。市として、子ども支援の充実・高齢者支援の推進等各事業実施にあたり、その取り組みについて伺う。

A 産業団地進出企業の操業開始により、企業誘致奨励措置後は安定した固定資産税等が見込まれる。また、投資的経費の抑制策は、国県の動向を注視し、財源確保・事務事業の見直しを行いさらなる経費削減に努める。

子育て関連は、第6次総合振興計画の政策の大綱に基づき、子育て応援日本一を目指すことを目的に、高齢者支援の推進は、見守り体制の強化や敬老会等、各事業を実施することで「元気で100歳」を目指して活動できるところを目的に予算編成した。（総合政策部長・健康福祉部長）

財政状況と見通しと今後の事業展望は



武藤寿男議員

Q 自由通路および駅西口広場の供用開始後の平成31年度以降の財政状況の見解と、今後の財政見通しを伺う。

人口減少と少子高齢社会となり、生産年齢人口の減少と民生費の増高が顕著となり、さらに、市債残高の増、基金積立金の減少が著しい状況にあると思われる。

庁舎、学校、公民館などの公共施設、道路、橋梁、上下水道などの公共インフラの老朽化対策など行政課題が山積している。今後、どの様な方針で財政運営し事業展開されるのか伺う。

A 幸手駅橋上駅舎、東西自由通路および駅西口広場の完成後の財政状況について、基金残高の減少と地方債残高の増加はいずれも楽観視できません。

しかしながら、幸手中央地区産業団地内の操業企業の奨励措置の3年後においては、それら企業の固定資産税や都市計画税といった安定した歳入が見込まれ、幸手市にとって明るい兆しも見えてくることから、今後においても引き続き、持続可能で安定的な行財政運営に努めて参ります。

（総合政策部長）

平成31年3月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 改革…改 先進…先 自由民主党…自 新緑…新 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)
(市長提出議案)

| 議案番号 | 議案名 | 議席番号・議員名 | | | | | | | | | | | | | | | 付託委員会 | 本会議 議決結果 |
|--------|---------------------------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---|--------------------|-------------|
| | | 2 大山 重隆(無) | 3 小林 啓子(公) | 4 小河 原浩和(改) | 5 本田 諤子(改) | 6 松田 雅代(先) | 7 宮杉 勝男(自) | 8 木村 治夫(自) | 9 小林 順一(公) | 10 中村 孝子(無) | 11 藤沼 貢(無) | 12 青木 章(新) | 13 手島 幸成(新) | 14 武藤 壽男(無) | 15 大平 泰二(共) | | | |
| 議案第1号 | 幸手市庁舎建設基金条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務 | 賛成全員可決 |
| 議案第2号 | 幸手市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務 | 賛成全員可決 |
| 議案第3号 | 幸手市税条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務 | 賛成全員可決 |
| 議案第4号 | 幸手市印鑑登録及び証明に関する条例及び幸手市手数料条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文教厚生 | 賛成全員可決 |
| 議案第5号 | 幸手市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文教厚生 | 賛成全員可決 |
| 議案第6号 | 幸手市営土地区改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 建設経済 | 賛成全員可決 |
| 議案第7号 | 幸手市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 建設経済 | 賛成多数可決 |
| 議案第8号 | 幸手市下水道条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 建設経済 | 賛成多数可決 |
| 議案第9号 | 幸手市水道事業給水条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 建設経済 | 賛成多数可決 |
| 議案第10号 | 平成30年度幸手市一般会計補正予算(第7号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 総務 文教厚生 建設経済 | 賛成多数可決 |
| 議案第11号 | 平成30年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文教厚生 | 賛成全員可決 |
| 議案第12号 | 平成30年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 文教厚生 | 賛成多数可決 |
| 議案第13号 | 平成30年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文教厚生 | 賛成全員可決 |
| 議案第14号 | 平成30年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 建設経済 | 賛成全員可決 |
| 議案第15号 | 平成30年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 建設経済 | 賛成多数可決 |
| 議案第16号 | 平成31年度幸手市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 総務 文教厚生 建設経済 | 賛成多数可決 |
| 議案第17号 | 平成31年度幸手市国民健康保険特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 文教厚生 | 賛成多数可決 |
| 議案第18号 | 平成31年度幸手市後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 文教厚生 | 賛成多数可決 |
| 議案第19号 | 平成31年度幸手市介護保険特別会計予算 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 文教厚生 | 賛成多数可決 |
| 議案第20号 | 平成31年度幸手市農業集落排水事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 建設経済 | 賛成全員可決 |
| 議案第21号 | 平成31年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 建設経済 | 賛成多数可決 |
| 議案第22号 | 平成31年度幸手市水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 建設経済 | 賛成全員可決 |
| 議案第23号 | 平成31年度幸手市公共下水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 建設経済 | 賛成全員可決 |
| 議案第24号 | 公平委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 賛成全員同意 |
| 議案第25号 | 公平委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 賛成全員同意 |
| 議案第26号 | 公平委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 賛成全員同意 |
| 議案第27号 | 平成30年度幸手市一般会計補正予算(第8号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務 文教厚生 | 賛成全員可決 |
| 議案第28号 | 平成31年度幸手市一般会計補正予算(第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 総務 文教厚生 建設経済 | 賛成全員可決 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 賛成全員同意 |
| 諮問第2号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 賛成全員同意 |

(議員提出議案)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|--------|
| 請願第1号 | 「アスベスト被害者補償基金を含む全面解決に向けた意見書」の国への提出を求める件 | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 文教厚生 | 賛成多数採択 |
| 請願第2号 | 幸手市消防西分署存続を求める件 | | | | | | | | | | | | | | | | 文教厚生 | 未了 |
| 意見書案第1号 | アスベスト被害者補償基金を含む解決に向けた意見書案の提出について | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 賛成多数可決 |

| | | |
|----------|-------|-------|
| 議会広報編集委員 | 委員長 | 藤沼 貢 |
| | 副委員長 | 宮杉 勝男 |
| | 委員 | 青木 章 |
| | 委員 | 大平 泰二 |
| | 委員 | 大山 重隆 |
| | 委員 | 木村 治夫 |
| 委員 | 小林 順一 | |
| 委員 | 本田 諤子 | |
| 委員 | 松田 雅代 | |

編集後記

ワクワク、ドキドキ新時代「令和」の幕開けが楽しみです。飛鳥時代の「大化」から元号は始まり1370余年続いています。世界に目を向けると元号を使用しているのは日本だけであり、伝統と文化の奥深さを感じると共に、とても不思議な気もします。折りしも幸手市では新駅舎が完成し、自由通路には日光街道の宿場名が貼り付けられていて、幸手宿の歴史を感じます。温故知新。「令和」を良い機会ととらえ、勇気を持って新たな一ページに花を咲かせませんか。「トゥゲザー」